

令和元年名古屋市外国人住民統計【概要版】

令和元年12月末の名古屋市内に住民登録をしている外国人住民数は88,114人で前年末に比べ、5,031人(6.1%)増加。

1 外国人住民数(第1表、第1表の2、第1表の3)

- ・令和元年末現在における名古屋市の外国人住民数は88,114人で前年末に比べ、5,031人(6.1%)増加しました。市内人口に占める外国人住民の割合は3.78%でした(前年末に比べ0.20ポイント増加)。
- ・男女別では、女性が45,223人(構成比51.3%)、男性が42,891人(同48.7%)となり、それぞれ増加しました。
- ・年齢別では、20代が27,271人(構成比30.9%)と最も多く、次いで30代18,180人(同20.6%)となっています。全ての年代が前年末より増加しており、特に20代は前年末に比べ、2,709人(11.0%)増加しました。

2 在留カード等上の国籍・地域別(第1表、第1図)

- ・在留カードおよび特別永住者証明書(以下「在留カード等」という。)上に表記された国籍・地域の数150(無国籍を除く。)でした。
- ・国籍・地域別では、中国が24,349人と最も多く、以下韓国15,404人、ベトナム10,705人、フィリピン9,545人、ネパール7,534人と続いています。
- ・増加率が顕著な国籍・地域としては、ネパールが対前年末比1,201人(19.0%)増、ベトナム同1,687人(18.7%)増、インドネシアが同176人(17.7%)増となっています。全体の増加数に対し、これらの国の住民増加数が占める割合は60.9%でした。

3 在留資格等別(第2表、第2表の2、第2図)

- ・外国人住民の在留資格等別では、「永住者」が24,168人(対前年末比382人(1.6%)増)と最も多く、次いで「留学」が15,008人(対前年末比984人(7.0%)増)、「特別永住者」が12,458人(対前年末比336人減(▲2.6%))と続いています。
- ・「留学」を国籍・地域別でみると、ネパールが4,931人と最も多く、次いでベトナム3,961人、中国3,110人と続いています。上位3国が「留学」に占める割合は80.0%でした。
- ・「留学」における国籍別増加数は、ネパールが対前年末比857人(21.0%)増と最も多かった一方、増加傾向が続いていたベトナムは対前年末比65人減(▲1.6%)となりました。

4 居住区別(第3表、第3図)

- ・外国人住民が最も多いのは中区で10,545人となっており、以下港区9,324人、中川区7,210人、千種区6,882人、中村区6,570人と続いています。
- ・全ての区で外国人住民数が増加しました。前年末からの増加数は、中区が742人(7.6%)増と最も多く、以下港区611人(7.0%)増、中川区594人(9.0%)増と続いています。

5-1【トピック】名古屋市におけるベトナム人住民およびネパール人住民

外国人住民の増加数全体に占めるベトナム、ネパール国籍の住民増加数は 57.4%を占めました。増加が顕著なこれらの国籍について取り上げます。

(1) ベトナム人住民（第4表、第4表の2、第4表の3、第4表の4、第4図）

- ・ベトナム人住民の在留資格等別では、「留学」が 3,961 人（対前年末比 65 人減（▲1.6%）と最も多く、ベトナム人住民全体の 37.0%を占めています。次いで、「技能実習」（※1 号ロ、2 号ロ、3 号ロの合計）が 3,596 人（対前年末比 958 人（36.3%）増）、「技術・人文知識・国際業務」が 1,549 人（対前年末比 518 人（50.2%）増）と続いています。
- ・男女別では、男性が 6,511 人（構成比 60.8%）、女性が 4,194 人（同 39.2%）でした。
- ・年齢別では、20 代が 7,802 人と最も多く、ベトナム人住民全体の 72.9%を占めています。
- ・居住区別では、千種区が 1,230 人（対前年末比 89 人（7.8%）増）と最も多く、次いで、中村区 1,180 人（対前年末比 4 人減（▲0.3%）、南区 1,146 人（対前年末比 296 人（34.8%）増）、港区 1,043 人（対前年末比 274 人（35.6%）増）、中川区 967 人（対前年末比 265 人（37.7%）増）と続いています。

(2) ネパール人住民（第5、第5の2、第5表の3、第5表の4、第5図）

- ・ネパール人住民の在留資格等別では、「留学」が 4,931 人（対前年末比 857 人（21.0%）増）と最も多く、ネパール人住民全体の 65.4%を占めています。次いで、「家族滞在」が 1,216 人（対前年末比 152 人（14.3%）増）、「技能」が 415 人（対前年末比 18 人（4.5%）増）と続いています。
- ・男女別では、男性が 4,501 人（構成比 59.7%）、女性が 3,033 人（同 40.3%）でした。
- ・年齢別では、20 代が 4,957 人と最も多く、ネパール人住民全体の 65.8%を占めています。
- ・居住区別では、中区が 1,656 人（対前年末比 417 人（33.7%）増）と最も多く、次いで、中村区 1,487 人（対前年末比 174 人（13.3%）増）、西区 797 人（対前年末比 102 人（14.7%）増）、千種区 625 人（対前年末比 61 人（10.8%）増）、北区 548 人（対前年末比 74 人（15.6%）増）と続いています。

5-2【トピック】新たな在留資格「特定技能」について

2019 年 4 月 1 日に改正入管法が施行され、在留資格「特定技能 1 号」と「特定技能 2 号」が新設されました。令和元年末におけるそれぞれの本市住民数は「特定技能 1 号」が 24 人、「特定技能 2 号」が 0 人となっています。

名古屋市外国人住民統計の詳細は、名古屋市公式ウェブサイトで公開しています。

統計データを Excel 形式でダウンロードできます。

<http://www.city.nagoya.jp/kankobunkakoryu/page/0000080856.html>

【第 1 表】国籍・地域別外国人住民数の推移（上位 10 位）

国籍・地域	平成 27 年末(人)	平成 28 年末(人)	平成 29 年末(人)	平成 30 年末(人)	令和元 年末(人)	前年差	対前年末 増減率
計	67,693	72,683	78,435	83,083	88,114	5,031	6.1%
中 国	21,293	22,056	22,791	23,386	24,349	963	4.1%
韓 国	16,316	16,016	15,752	15,563	15,404	▲ 159	▲1.0%
ベ ト ナ ム	3,951	5,550	7,282	9,018	10,705	1,687	18.7%
フ ィ リ ピ ン	7,905	8,441	9,125	9,236	9,545	309	3.3%
ネ パ ー ル	2,228	3,390	4,933	6,333	7,534	1,201	19.0%
ブ ラ ジ ル	3,609	3,787	4,080	4,344	4,812	468	10.8%
米 国	1,497	1,674	1,731	1,636	1,535	▲ 101	▲6.2%
台 湾	971	1,030	1,092	1,185	1,226	41	3.5%
インドネシア	693	820	1,005	994	1,170	176	17.7%
ス リ ラ ン カ	466	621	832	999	1,096	97	9.7%
そ の 他	8,764	9,298	9,812	10,389	10,738	349	3.4%

○国籍・地域：在留カード又は特別永住者証明書（以下「在留カード等」という。）の国籍・地域欄の表記（注 1 及び注 2）である。
（注 1）「韓国」、「朝鮮」：朝鮮半島出身者及びその子孫等で、韓国籍を始めいずれかの国籍があることが確認されていない者は、在留カード等の「国籍・地域」欄に「朝鮮」の表記がなされており、「朝鮮」は国籍を表示するものとして用いているものではない。在留カード等の「国籍・地域」欄に「韓国」の表記がなされている者を「韓国」に、「朝鮮」の表記がなされている者を「朝鮮」に計上している。
（注 2）「台湾」：台湾の権限ある機関が発行した旅券等を所持する者は、平成 24 年 7 月 8 日までは外国人登録証明書の「国籍等」欄に「中国」の表記がなされていたが、同年 7 月 9 日以降は、在留カード等の「国籍・地域」欄に「台湾」の表記がなされており、「台湾」の表記がなされた在留カード等の交付を受けた者を「台湾」に計上している。

【第 1 表の 2】外国人住民の男女比（令和元年末）

	人数	構成比
男性	42,891	48.7%
女性	45,223	51.3%
総数	88,114	100%

【第 1 表の 3】年齢別外国人住民数（令和元年末）

単位：人

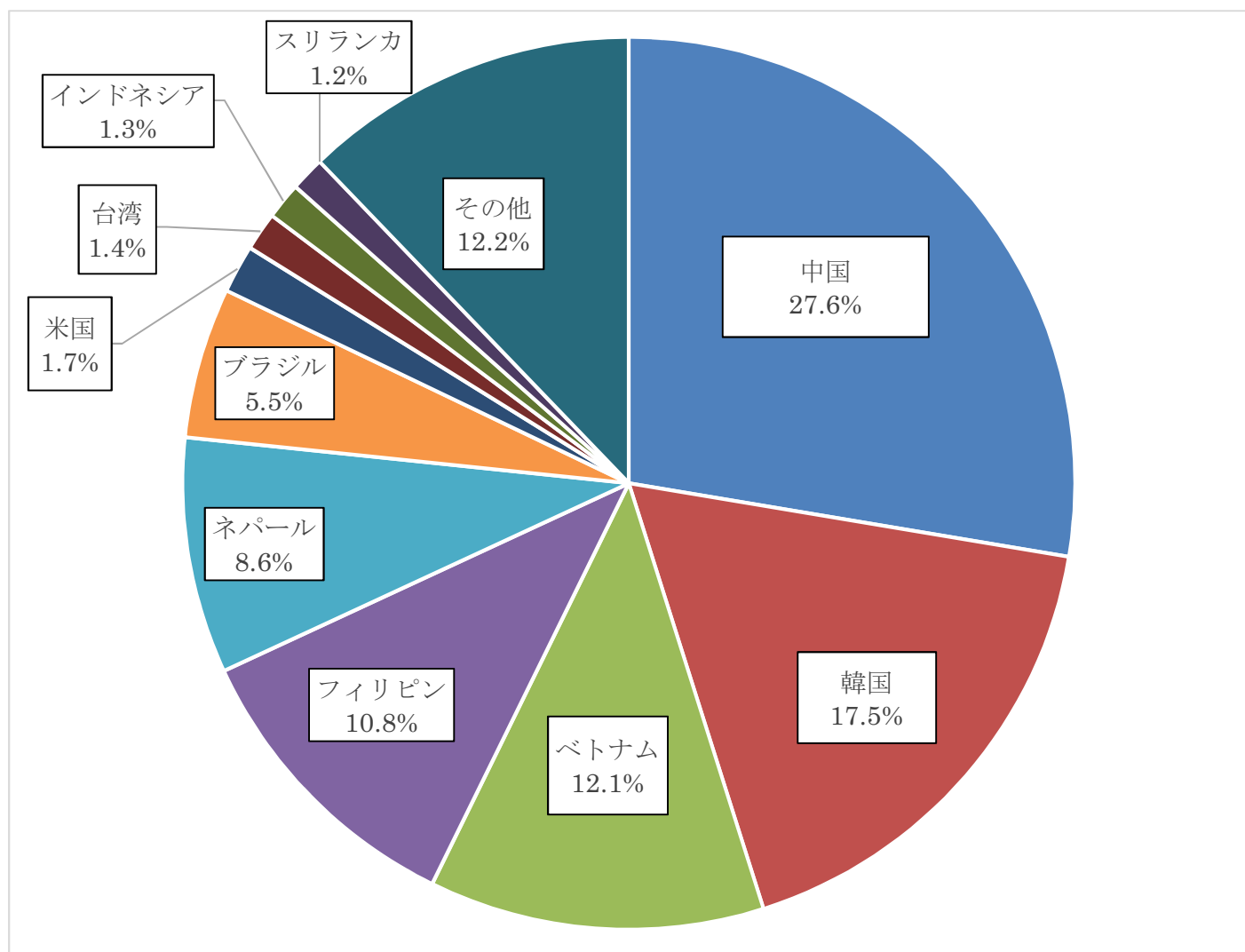
9 歳以下	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 歳以上	計
6,248	5,603	27,271	18,180	12,487	9,175	4,750	2,875	1,525	88,114
7.1%	6.4%	30.9%	20.6%	14.2%	10.4%	5.4%	3.3%	1.7%	100%

（参考）年齢別外国人住民数（平成 30 年末）

単位：人

9 歳以下	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 歳以上	計
5,907	5,500	24,562	17,374	12,224	8,742	4,571	2,801	1,402	83,083
7.1%	6.6%	29.6%	20.9%	14.7%	10.5%	5.5%	3.4%	1.7%	100%

【第 1 図】 国籍・地域別外国人住民構成比（令和元年末）



※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはならない。

【第2表】在留資格等別外国人住民数の推移

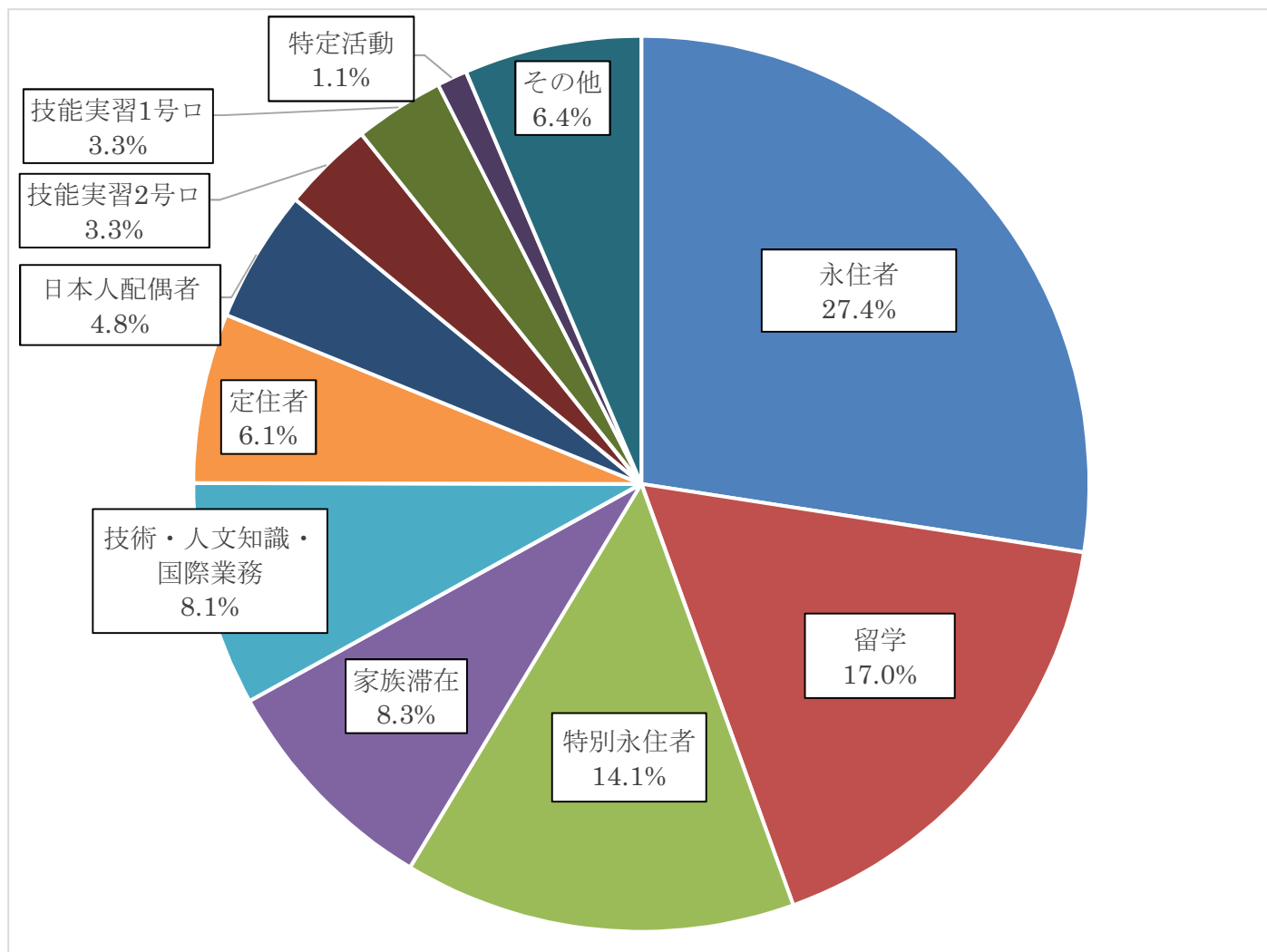
在留資格等	平成 27 年末(人)	平成 28 年末(人)	平成 29 年末(人)	平成 30 年末(人)	令和元年 末(人)	前年差 (人)	対前年末 増減率
計	67,693	72,683	78,435	83,083	88,114	5031	6.1%
永住者	21,338	22,574	23,286	23,786	24,168	382	1.6%
留学	8,099	9,783	11,980	14,024	15,008	984	7.0%
特別永住者	13,971	13,609	13,186	12,794	12,458	▲ 336	▲2.6%
家族滞在	4,775	5,258	6,052	6,601	7,313	712	10.8%
技術・人文知識・ 国際業務	1,530	3,277	4,521	5,780	7,112	1332	23.0%
定住者	4,158	4,435	4,695	4,974	5,400	426	8.6%
日本人配偶者	3,911	3,896	3,956	4,021	4,221	200	5.0%
技能実習 2 号口	1,407	1,826	2,198	2,417	2,914	497	20.6%
技能実習 1 号口	1,364	1,578	1,691	2,165	2,862	697	32.2%
特定活動	767	890	1,640	1,166	963	▲ 203	▲17.4%
その他	6,373	5,557	5,230	5,355	5,695	340	6.3%

(注1)平成 27 年 4 月 1 日の改正出入国管理及び難民認定法の施行に伴い、在留資格「投資・経営」は「経営・管理」へ改正され、「技術」及び「人文知識・国際業務」は「技術・人文知識・国際業務」へ一本化され、高度専門職1号イ、ロ、ハ及び高度専門職2号が新設されている。

【第2表の2】「留学」における国籍別外国人住民数の推移（上位5位）

国籍・地域	平成 29 年末 (人)	平成 30 年末 (人)	令和元年末 (人)	前年差 (人)	対前年末 増減率
計	11,980	14,024	15,008	984	7.0%
ネパール	2,978	4,074	4,931	857	21.0%
ベトナム	3,381	4,026	3,961	▲ 65	▲1.6%
中国	3,034	3,055	3,110	55	1.8%
スリランカ	351	462	515	53	11.5%
韓国	348	366	345	▲ 21	▲5.7%
その他	1,888	2,041	2,146	105	5.1%

【第2図】在留資格等別外国人住民構成比（令和元年末）



※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

※在留資格の詳細につきましては、入国管理局のウェブサイトをご確認ください。

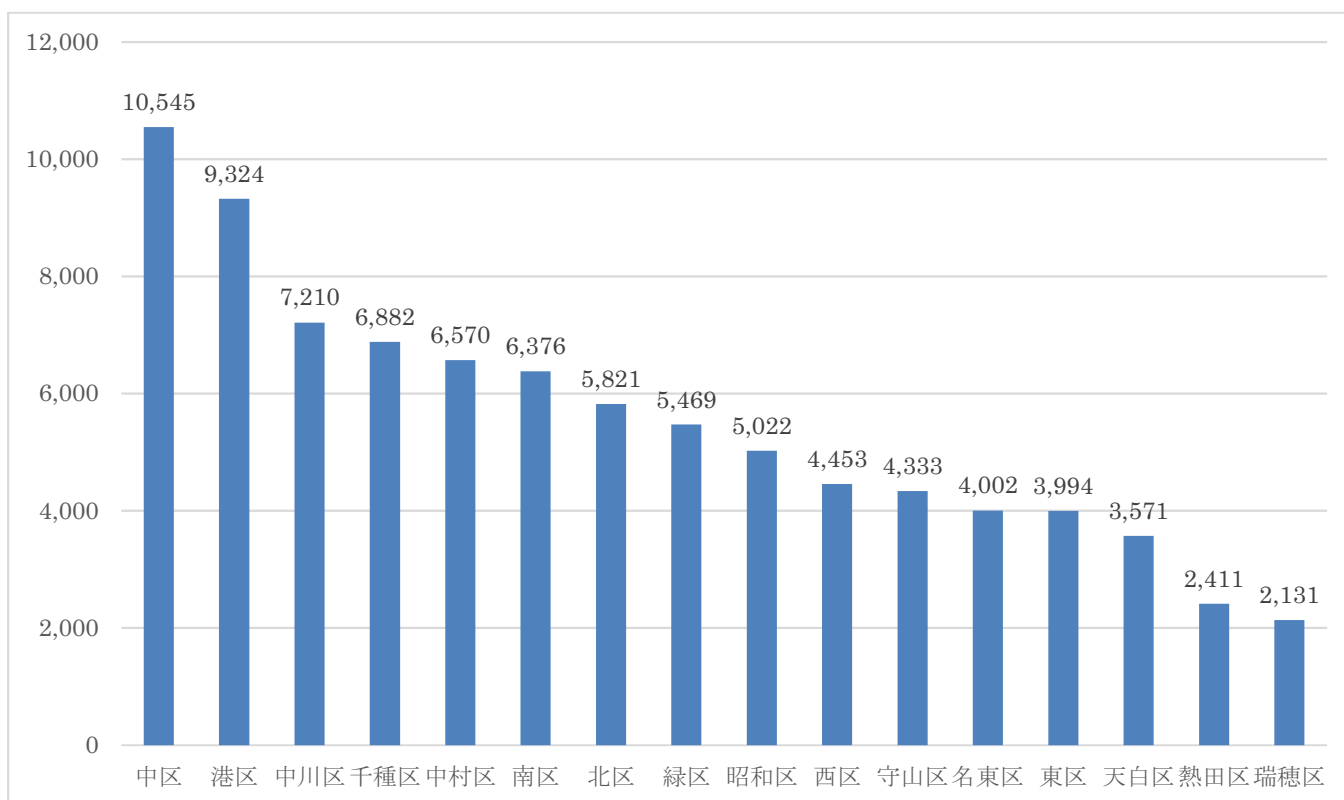
(<http://www.immi-moj.go.jp/tetuduki/kanri/qaq5.html>)

【第3表】居住区別外国人住民数（多い区順）

区	平成 27 年末(人)	平成 28 年末(人)	平成 29 年末(人)	平成 30 年末(人)	令和元 年末(人)	前年差 (人)	対前年末 増減率
計	67,693	72,683	78,435	83,083	88,114	5,031	6.1%
中区	7,605	8,271	8,999	9,803	10,545	742	7.6%
港区	7,286	7,762	8,255	8,713	9,324	611	7.0%
中川区	5,485	5,876	6,209	6,616	7,210	594	9.0%
千種区	5,032	5,468	6,308	6,612	6,882	270	4.1%
中村区	4,727	5,453	6,011	6,377	6,570	193	3.0%
南区	4,799	5,024	5,469	5,899	6,376	477	8.1%
北区	4,614	4,946	5,206	5,446	5,821	375	6.9%
緑区	4,415	4,636	4,888	5,156	5,469	313	6.1%
昭和区	3,873	4,205	4,476	4,778	5,022	244	5.1%
西区	3,177	3,436	3,857	4,201	4,453	252	6.0%
守山区	3,831	4,022	4,146	4,208	4,333	125	3.0%
名東区	3,323	3,449	3,731	3,849	4,002	153	4.0%
東区	3,075	3,199	3,363	3,612	3,994	382	10.6%
天白区	2,931	3,152	3,372	3,499	3,571	72	2.1%
熱田区	1,836	1,956	2,186	2,293	2,411	118	5.1%
瑞穂区	1,684	1,828	1,959	2,021	2,131	110	5.4%

【第3図】居住区別外国人住民数（令和元年末）

単位：人



【第 4 表】在留資格別ベトナム人住民数の推移(上位 10 位)

在留資格等	平成 29 年末		平成 30 年度		令和元年度		前年差	対前年末 増減率
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比		
計	7,282	100%	9,018	100%	10,705	100%	1687	18.7%
留学	3,381	46.4%	4,026	44.6%	3,961	37.0%	▲ 65	▲1.6%
技能実習 2 号口	1,096	15.1%	1,268	14.1%	1,689	15.8%	421	33.2%
技能実習 1 号口	884	12.1%	1,253	13.9%	1,637	15.3%	384	30.6%
技術・人文知識・ 国際業務	613	8.4%	1,031	11.4%	1,549	14.5%	518	50.2%
家族滞在	514	7.1%	664	7.4%	882	8.2%	218	32.8%
技能実習 3 号口	2	0%	117	1.3%	270	2.5%	153	130.8%
永住者	174	2.4%	197	2.2%	217	2.0%	20	10.2%
日本人配偶者	79	1.1%	94	1.0%	120	1.1%	26	27.7%
特定活動	299	4.1%	151	1.7%	112	1.0%	▲ 39	▲25.8%
定住者	58	0.8%	69	0.8%	81	0.8%	12	17.4%
その他	182	2.5%	148	1.6%	187	1.7%	39	26.4%

※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはならない。

【第 4 表の 2】ベトナム人住民の男女比(令和元年末)

	人数	構成比
男性	6,511	60.8%
女性	4,194	39.2%
総数	10,705	100%

【第 4 表の 3】年齢別ベトナム人住民数(令和元年末)

単位：人

9 歳以下	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 歳以 上	計
428	740	7,802	1,586	119	18	9	3	0	10,705
4.0%	6.9%	72.9%	14.8%	1.1%	0.2%	0.1%	0%	－	100%

【第4表の4】居住区別ベトナム人住民数（多い区順）

区	平成29年末(人)	平成30年末(人)	令和元年末(人)	前年差(人)	対前年末 増減率
計	7,282	9,018	10,705	1,687	18.7%
千種区	1,181	1,141	1,230	89	7.8%
中村区	915	1,184	1,180	▲4	▲0.3%
南区	691	850	1,146	296	34.8%
港区	576	769	1,043	274	35.6%
中川区	571	702	967	265	37.7%
中区	570	864	957	93	10.8%
緑区	517	725	891	166	22.9%
昭和区	413	488	549	61	12.5%
西区	384	452	511	59	13.1%
北区	245	358	478	120	33.5%
守山区	269	351	461	110	31.3%
天白区	264	277	347	70	25.3%
東区	257	320	321	1	0.3%
熱田区	241	281	320	39	13.9%
名東区	106	157	192	35	22.3%
瑞穂区	82	99	112	13	13.1%

【第 5 表】在留資格別ネパール人住民数の推移(上位 10 位)

在留資格等	平成 29 年末		平成 30 年末		令和元年末		前年差	対前年末 増減率
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比		
計	4,933	100%	6,333	100%	7,534	100%	1201	19.0%
留学	2,978	60.4%	4,074	64.3%	4,931	65.4%	857	21.0%
家族滞在	864	17.5%	1,064	16.8%	1,216	16.1%	152	14.3%
技能	407	8.3%	397	6.3%	415	5.5%	18	4.5%
技術・人文知識・ 国際業務	109	2.2%	198	3.1%	340	4.5%	142	71.7%
永住者	327	6.6%	331	5.2%	337	4.5%	6	1.8%
特定活動	108	2.2%	89	1.4%	71	0.9%	▲ 18	▲20.2%
永住者配偶者	43	0.9%	52	0.8%	55	0.7%	3	5.8%
定住者	35	0.7%	47	0.7%	55	0.7%	8	17.0%
経営・管理	25	0.5%	37	0.6%	48	0.6%	11	29.7%
日本人配偶者	21	0.4%	29	0.5%	40	0.5%	11	37.9%
その他	16	0.3%	15	0.2%	26	0.3%	11	73.3%

※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはならない。

【第 5 表の 2】ネパール人住民の男女比(令和元年末)

	人数	構成比
男性	4,501	59.7%
女性	3,033	40.3%
総数	7,534	100%

【第 5 表の 3】年齢別ネパール人住民数(令和元年末)

単位：人

9 歳以下	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 歳以上	計
331	376	4,957	1,408	376	76	9	1	0	7,534
4.4%	5.0%	65.8%	18.7%	5.0%	1.0%	0.1%	0%	－	100%

【第 5 表の 4】居住区別ネパール人住民数（多い区順）

区	平成 29 年末(人)	平成 30 年末(人)	令和元年末(人)	前年差(人)	対前年末 増減率
計	4,933	6,333	7,534	1,201	19.0%
中 区	800	1,239	1,656	417	33.7%
中 村 区	1,038	1,313	1,487	174	13.3%
西 区	527	695	797	102	14.7%
千 種 区	457	564	625	61	10.8%
北 区	396	474	548	74	15.6%
中 川 区	348	358	427	69	19.3%
東 区	253	347	413	66	19.0%
港 区	133	213	283	70	32.9%
昭 和 区	157	208	248	40	19.2%
南 区	152	192	219	27	14.1%
守 山 区	155	196	210	14	7.1%
天 白 区	160	168	191	23	13.7%
熱 田 区	145	136	153	17	12.5%
緑 区	92	86	113	27	31.4%
名 東 区	77	97	105	8	8.2%
瑞 穂 区	43	47	59	12	25.5%